

第5回 勢田川流域等浸水対策協議会

【日 時】令和元年12月25日（水）14:00～15:00

【場 所】伊勢市防災センター 4階 防災多目的ホール

【出席者】別紙の通り

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

- (1) 汁谷川の整備計画について . . . 資料1
 - 1) 三重県
- (2) 勢田川流域等浸水対策実行計画の進捗状況について . . . 資料2
 - 1) 伊勢市
 - 2) 三重県
 - 3) 国土交通省三重河川国道事務所
- (3) 勢田川流域等浸水対策実行計画の今後の取り組みについて . . . 資料3
 - 1) 伊勢市
 - 2) 三重県
 - 3) 国土交通省三重河川国道事務所

4. 閉 会

1. 開 会

「勢田川流域等浸水対策協議会」を開会した。

2. 挨拶

伊勢市長

本年は、8月の九州豪雨、9月の台風第15号、10月の台風第19号など全国各地で自然災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられた年でした。

長野県千曲川をはじめ多数の堤防決壊が生じ甚大な被害が発生した台風第19号では、台風が当初の進路であれば、伊勢市においてもいくつかの河川で越水が生じていたと思われます。しかし、少し進路がずれたことにより伊勢市の被害としましては、勢田川流域ではありませんでしたが、五十鈴川に隣接する楠部町地内におい

ては浸水被害が発生し、住民がボートで救出されるなど報道もされました。

あらためて、国土強靱化、事前防災・減災のハード・ソフト対策の加速化など、平時から万全の備えを行うことの重要性を実感しています。

さて本年は、伊勢湾台風から60年ということもあり、防災情報を発信する行政機関の国土交通省、三重県、伊勢市とSNSとAI技術を有する企業や研究機関と連携し、LINEを活用した「逃げなきゃコール」の現場実証訓練を実施しました。

AIスピーカーを活用した防災情報等の入手と安否確認など、ソフト対策として全国初となる取り組みを行ったところです。

本日開催の第5回の協議会では、今後追加予定である『汁谷川の整備計画』及び『実行計画の進捗状況等』を皆様のご意見も頂戴しながら協議してまいりますので、よろしくお願いいたします。

3. 議 事

(1) 汁谷川の整備計画について

三重県から配布資料1により説明を行った。

- ・今年度、宮川水系（指定区間）河川整備計画を変更し、汁谷川に関する事項を追加する予定である。

原案の概要は以下の通りである。

- ・（外水氾濫対策）本整備計画では、過去の流域内の浸水被害や県内他河川の治水安全度と流域内のバランス等を考慮し、年超過確率1/30の降雨に対して被害を防ぐことを目標とし、基準地点の宮川合流点において80m³/sの流量を安全に流下させる河道を整備する。
- ・（内水氾濫対策）宮川本川に対する内水氾濫については、伊勢市の下水道排水計画と整合を図り、年超過確率1/10の降雨に対して床上浸水を防ぐことを目標とし、汁谷川排水機場に約8m³/sの排水ポンプを新設し、約13m³/sの既存のポンプと合わせて約21m³/sの排水能力とする。
- ・宮川水系（指定区間）河川整備計画に汁谷川に関する事項が追加されれば、勢田川流域等浸水対策実行計画の対策メニューに汁谷川の整備を追加する予定である。

(2) 勢田川流域等浸水対策実行計画の進捗状況について

各機関から配布資料2により説明を行った。

伊勢市

- ・汁谷川排水機場の建物・施設関係工事を7月末で完了
- ・桧尻川・桧尻川支川、清川に危機管理型水位計を設置完了
- ・雨水排水施設の整備計画を策定
- ・倉田山排水区黒瀬ポンプ場の事業認可を策定中
- ・桧尻第1排水区の排水路整備に着手
- ・桧尻第2排水区の事業計画を策定中
- ・伊勢市防災大学・ワークショップの開催

三重県

- ・ 桧尻川の河道断面を増やすために河道掘削を実施中
（中流区間が完了し、11月より上流区間を実施中）
- ・ 勢田川（指定区間）、桧尻川、汁谷川洪水浸水想定区域図を令和1年6月に公表
- ・ 勢田川（指定区間）、汁谷川の危機管理型水位計を平成30年8月より運用

三重河川国道事務所

- ・ 勢田川の水位を下げるため、河道断面を増やすための掘削を実施中
- ・ 桧尻川排水機場のポンプ増強工事のための設計を実施中
- ・ 設計と並行し、令和元年7月に地元説明会を実施

(3) 勢田川流域等浸水対策実行計画の今後の取り組みについて

各機関が配布資料3により説明を行った。

伊勢市

- ・ 令和元年度末に桧尻第2排水区と倉田山排水区黒瀬ポンプ場の流域関連伊勢市公共下水道事業計画の事業認可取得
- ・ 桧尻第2排水区幹線排水路と倉田山排水区黒瀬ポンプ場の設計に着手
- ・ 桧尻第1排水区の雨水排水路整備の継続
- ・ 令和2年度伊勢市防災大学の開催予定
- ・ ワークショップの開催予定
- ・ 神宮周辺の交通渋滞対策としてパーク&バスライドの駐車場整備中
（勢田川の発生土砂の運搬先として実行計画の推進を連携）

三重県

- ・ 桧尻川の河道断面を増やすための掘削、護岸工事を引き続き実施

三重河川国道事務所

- ・ 勢田川の水位を下げるため、河道断面を増やすための掘削を引き続き実施
（土砂運搬先は、パーク&バスライドの駐車場整備へ搬出）
- ・ 桧尻川ポンプ場増強の工事实施のための設計、地元調整中
（令和2年度以降に工事着手予定）

4. 閉会

三重河川国道事務所長

台風第19号の影響による河川の被害状況について、国管理河川では堤防決壊が12箇所あり、11月8日までに12箇所全ての補強工事が完了している。県管理河川においても128箇所の堤防決壊箇所を11月8日までに全ての仮堤防が完成している。そのうち36箇所が国の権限代行による復旧工事を実施した。

狩野川では狩野川台風よりも多くの雨が降ったが昭和の時代に作った狩野川放水路への分派によって本川からの氾濫を防ぎ、人的被害をゼロに抑えることが出来た。

三重県県土整備部次長

今年も三重県内で記録的短時間大雨情報が発令された。いつどこでこのような雨が降ってもおかしくない状況である。

汁谷川の整備については、スピード感をもってやっていきたい。

伊勢市長

本日は、第5回 勢田川流域等浸水対策協議会を開催し、浸水対策実行計画の進捗状況を確認することができた。

今後に向けて皆様との結束をさらに固めることができたと感じている。

汁谷川の整備計画について、三重県さんのご尽力により策定目前まで進めていただいている。汁谷川流域は、平成29年の台風第21号では、多大な浸水被害を受けたところですので、整備計画が策定され次第、実行計画にも反映していきたいと考えている。

一日でも早く災害に強い安全安心なまちづくりを進めていきたいと考えているので、引き続き連携し、対策の実施を進めていただき、この協議会が市民の皆様にとって安心して暮らしていただけるまちづくりの実現に繋がるよう尽力してまいりますので、今後もよろしくお願いしたい。

「勢田川流域等浸水対策協議会」を閉会した。